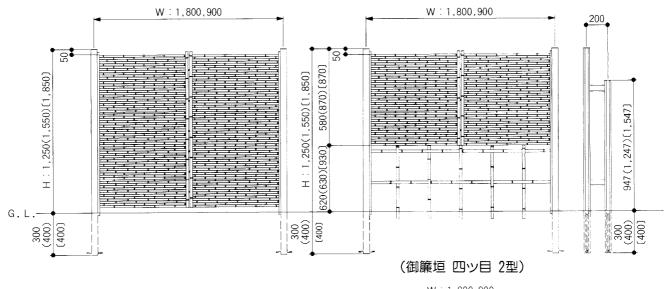
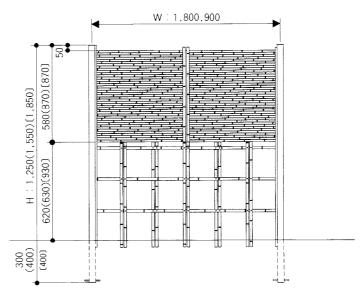
御簾垣



(御簾垣 四ツ目 1型)





施工前の注意事項

1 コンクリート・モルタル仕上げについて

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

- ①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。 抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、 塩化カルシュウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と**銅板やラス**等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにして いただくか、接触する部分を完全に養生してください。

2 竹垣全体の強度確保について

《御簾垣》はパネルタイプの竹垣のため、竹垣全体で風を受けますので竹垣全体の強度保持に十分注意してください。

- ①基礎は原則として布基礎を標準施工とし、鉄筋を縦・横に配筋し《御簾垣》のアンカー棒と確実に締結してください。
- ②基礎巾15cm以上、根入深さ45cm以上確保し、施工現場に応じ、フーチングを設けてください。

また、控え柱部分にも基礎を設けてください。

- ③控え柱付間柱セットは端部および、直線連結部2スパンに1個所使用してください。 (標準施工)
- ④各部材の組立は指示するネジで、ネジ止め個所を全て確実に止めてください。
- ■特に下記のような施工現場では基礎を大きめに設けると共に支柱セットは全て控え 柱付柱セットをご使用ください。
- ■台風が頻繁に飛来する地区や海岸沿いの崖付近など特に風の強い場所。
- 2特に地盤が軟弱な場所。

梱包内容明細

パネルセット 色記号 { MGFD 薄青竹色 MGFY 枯竹色

パネルセット(W)	記 물		寸法(H)	梱包内容		容
		2000	四ツ目使用			
		0906	1,200用	2	枚	入
			四ツ目使用			
900巾	MGFD	0909	1,500用	3	枚	入
רווחספ	MGFY		1,800用			
		0912	1,200用	4	枚	λ
		0915	1,500用	5	枚	Λ
		0918	1,800用	6	枚	λ
		1006	四ツ目使用	2	ŧΙτ	7
		1806	1,200用	2	枚	λ
			四ツ目使用			
1800巾	MGFD	1809	1,500用	3	枚	λ
	MGFY		1,800用			
		1812	1,200用	4	枚	入
		1815	1,500用	5	枚	λ
		1818	1,800用	6	枚	入

■ 押え竹セット 色記号 TBD 薄青竹色 TBY 枯竹色

51	믕	寸法(日)	梱 包 内 容
	06	四ツ目使用	押え竹2本・M5×12 &トラスビス4本
	00	1,200用	かんけんか 100~126~フスピス4本
		四ツ目使用	
TBD	09	1,500用	押え竹2本·M5×12ℓトラスビス6本
TBY		1,800用	
	12	1,200用	押え竹2本・M5×12ℓトラスビス8本
	15	1,500用	押え竹2本·M5×12 0トラスビス10本
	18	1,800用	押え竹2本·M5×12 &トラスビス12本

■ 四ツ目垣セット 1型(TFBD 2型(TFDD)

20	ツ目垣(W)	記 물		寸法(H)	梱包内容		}	
		TFBD	0906	1,200用	本	/ -	1	+17
	900巾	B.	0900	1,500用	4	体	i	枚
		LEDA	0909	1,800用	本	体	1	枚
		TFBD	1806	1,200用	本	体	1	+ h7
1800巾	T-BV	1000	1,500用	4	144	ı	枚	
		IFBA	1809	1,800用	本	体	1	枚

| 支柱セット

色記号	MGPY	薄青竹色 枯竹色
	HVICTE	4TH 1 1 FF.

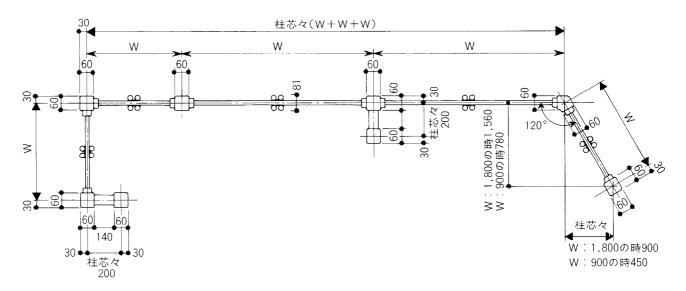
				CIVIC	
支柱セット		記 물		寸法(H)	梱包内容
		MGP	12M	1,200用	柱セット1本
間	柱		15M	1,500用	
		MGPY	18M	1,800用	アンカー棒1本
控え	++ /++	MOD	12SM	1,200用	++ + 4 -+
怪ん	柱付柱	MGP	15SM	1,500用	柱セット1本
	往	MGPY	18SM	1,800用	アンカー棒2本
			12T	1,200用	+++
端	柱		15T	1,500用	柱セット1本
		MGPY	18T	1,800用	∤アンカー棒1本
控え	柱付	MGP	12ST	1,200用	柱セット1本
選ぶ	柱柱	MGPY	15ST	1,500用	アンカー棒2本
מוא	11	IVIGET	18ST	1,800用	アンカー学で
		MOD	12K	1,200用	せ セット 1 木
90° ⊐ —	ナー柱	MGP	15K	1,500用	柱セット1本
		MGPY	18K	1,800用	アシカー棒1本
		MOD	12C	1.200用	
120° ⊐ —	ナー柱	MGP	15C	1,500用	柱セット1本
		MGPY	18C	1,800用	

施工手順

1 柱位置の設定・基礎型枠の設置

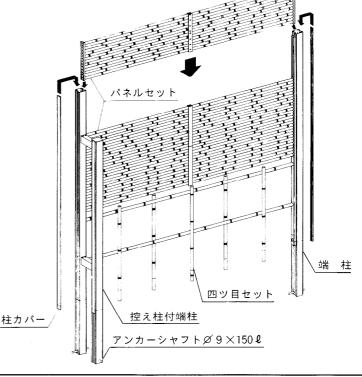
- 1.下図標準柱セット配置図を参照し柱の位置を決めてください。
- 2.基礎高さは竹垣の高さサイズを考慮し設定してください。(柱埋込み姿図参照)
- 3.柱セット位置に合わせ基礎型枠を設置してください。
- 4.型枠内に配筋し、柱位置、控え柱位置及び四ツ目垣使用時には、縦竹に捨てコンを打ち、水平レベルを出してください。

〔柱セット配置図〕端柱 ↔ 90°コーナー柱 ↔ 間柱 ↔ 間柱 ↔ 120°コーナー柱 ↔ 端柱



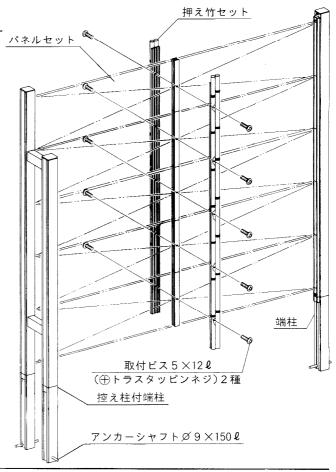
2 柱セット・パネルセット・四ツ目の取付け

- ①柱にセットしてある(**4** 参考) 柱 キャップ・柱力バーB・アタッチメ ントキャップを取り外して下さい。
- ②端柱(控え柱付端柱)の柱カバーが パネルスライド溝側に向く時には、 柱カバー下部のテープを取り、柱カ バーを上へ引き抜き端末側へ差し替 え、テープで止めてください。
- ③右図を参考に柱のスライド溝へパネルセット及び四ツ目セットを柱上部から垂直に差し込んでください。
- 〔注意〕竹垣が倒れないよう棰木等で仮 止めしてください。



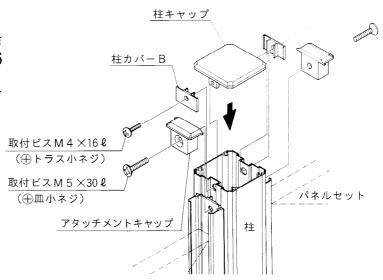
3 押え竹セットの取付け

①押え竹セットの取付け方法は、図を参考にセットし、取付ビス5×12ℓ(⊕トラスタッピンネジ)で固定してください。



4 柱キャップ・アタッチメントキャップの取付け

①柱キャップ・アタッチメントキャップの取付け方法は、右図を参考にセットし、取付けビスM4×16 ℓ (⊕トラス小ネジ)及び、M5×30ℓ (⊕皿小ネジ)で固定して下さい。



5 竹垣のコンクリート打ち

- ①柱のアンカーと基礎の鉄筋と締結してください。
- ②竹垣全体の水平・垂直・出入りの確認してください。
- ③基礎型枠にコンクリート打ちを行い竹垣を固定してください。 コンクリートがかたまる前にもう一度水平・垂直・出入りの確認をしてください。